



釧路あすなろクラブ会報

2009年10月号

平成21年度年間テーマ 『釧路の今、そしてこれから』

平成21年10月 例会報告 【執行部担当例会 管外宿泊研修】

題 目 『十勝ワインに学ぶ、地域産業振興』 池田町ブドウ、ブドウ酒研究所

開催日時 平成21年10月17日（土曜日）～18日（日曜日）

宿泊場所 十勝川温泉 観月苑

出席者 第一部会5名 第二部会7名 第三部会6名 第四部会7名
合計出席者数 25名（研修出席者数21名） 出席率 50%

◆会長挨拶◆

池田ワイン城の研修でブドウ栽培とワイン製造現場を見学し、池田町の長期に渡る地域産業振興を研修して来ました。また、ワインテイastingセミナーの試飲ではワインの違いを感じることができました。今年も残す所2回となりましたが、今日はゆっくりとご歓談し懇親を深めて頂ければ幸いです。

◆会長選考委員会報告◆

関 昭次 選考委員長より、来期会長候補の発表が行われ、現会長である宮崎博好会員の再任を決定したとの報告を受け、拍手を持って承認されました。

◆例会報告◆

10月17日午後0時45分に釧路市役所裏を出発し、途中恋問、浦幌に寄り、午後3時20分にワイン城に到着。ブドウ畑、工場見学、ワインセミナーを受講しました。

地域産業振興を目的に始まった池田町のワイン造りは日本初の一村一品運動でもあります。戦後再建団体になった池田町は、財政再建のために身近にある素材として山ぶどうに注目しワイン醸造に挑戦しました。そのワインは海外で高い評価を得ますが、収量が安定しないため、町が独力でブドウの品種改良に取り組みました。栽培方法を研究する中で、近隣の農家の方も興味を持ちはじめ、徐々に協力を得られるようになり官民一体になって品種改良を続けました。

寒冷地でも栽培できるワインに適したブドウを探し、なんと二万種類もの品種を生み出してきた中で清見種と山ぶどうとの交配が、とても良いブドウを生み出すことを発見。この技術により、独自品種「清舞」「山幸」が生まれ、安定したワイン醸造が出来るようになりました。その収益は総額480億円にもなり、体育館や町民ホールの建造をはじめ町財政に多大な貢献をすることとなります。なにより、地域農業振興としてブドウ栽培とワイン醸造が日の目を見るまで10年以上も地道に取り組み続けた。その事に学ぶべき物が多いと思います。

終了後、午後5時30分に観月苑に到着、会場の準備が整うまでの間、自由時間となり入浴したり部屋で歓談。午後6時45分より懇親会が始まりまして、クイズヘキサゴン、ビンゴなどで盛り上がりました。午後8時30分には終了し、会場を移し二次会へと突入。大変賑やかな二次会となりました。翌朝は9時30分に出発し、途中幕別のさけ捕獲場を見学した後、釧路へと戻りました。



釧路あすなるクラブ

11月例会のご案内

天気にも恵まれワインを堪能し、ワインの知識も深め、クラブ員同士の親好も深まった10月例会でした。

今月は、地域経済研究・地域政策の分野で実践的に地域課題に応えるプロジェクトを展開されている、釧路公立大学学長の小磯修二様を講師にお迎えし、「地域と大学」を演題に講演していただきます。

・ ・ ・ ・ ・ 11月例会 ・ ・ ・ ・ ・

■例会内容■ 『地域と大学』
講師 釧路公立大学 学長 小磯 修二 様

■開催場所■ 釧路キャッスルホテル
1階 海の間

■日 時■ 平成 21 年 11月12日(木曜日)
食事 午後 6時～
例会 午後 6時30分～

■出欠連絡■ 締め切り 11月5日(木曜日)必着！

★出欠・食事の有無に○を付け、各部長さんへFAXお願いします。

*準備の都合がありますので、早目の出欠連絡をお願いします。

氏 名 _____

11月例会 出席 ・ 欠席

食事 有 ・ 無

■各部長のFAX番号■

一部会	斉藤剛史	40-3142	二部会	関川孝輔	42-0318
三部会	高木俊一	44-6417	四部会	前 義幸	36-9340